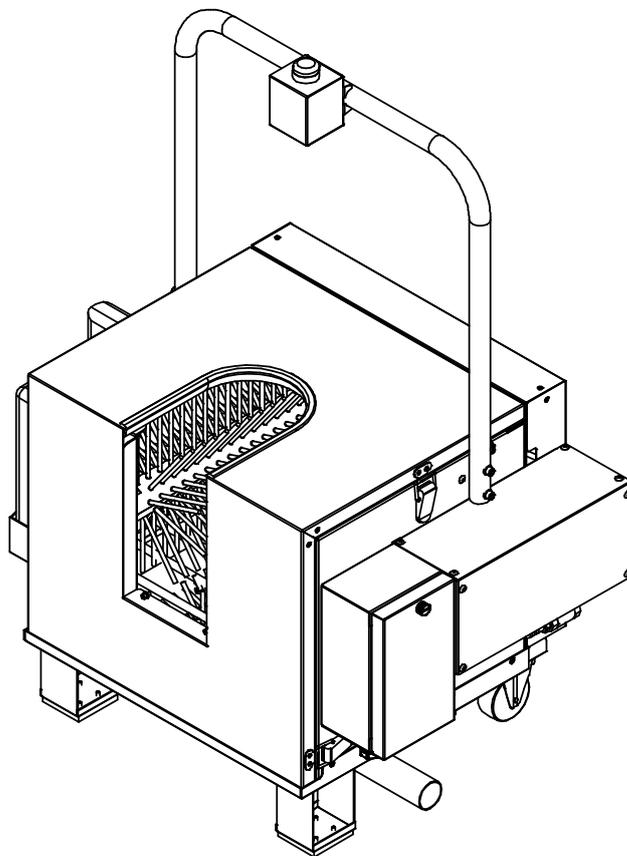


# 取扱説明書

INSTRUCTION MANUAL

## 洗剤投入式 長靴洗浄装置 KLS-J02B



このたびは長靴洗浄装置をご購入いただきまして、誠にありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
特に「安全上のご注意」(2～5ページ)はご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。  
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。
- 電気配線工事は必ず「電気工事士」の免許をお持ちの方が行ってください。

【保証書付】

# も く じ

1	安全上のご注意	2ページ
2	概要	6ページ
3	各部名称	6ページ
4	設置・移動に際してのお願い	7ページ
5	ご使用方法	10ページ
6	お手入れの仕方	12ページ
7	故障かな!?	16ページ
8	保証とアフターサービス	17ページ
9	仕様	18ページ

# 1 安全上のご注意

必ずお守り下さい

この製品を「使用される人」や「管理される人」、「他の人」への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように区分し説明しています。

- ◆表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生ずる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。  
なお、『△注意』に記載した事項でも、状況によっては重大な結果につながる可能性がありますので必ず守ってください。

表 示	説 明
 <b>警 告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注 意</b>	この表示の欄は、「障害を負う、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- ◆お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。  
(下記は絵表示の一例です)

 	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

- ◆この製品をご使用いただく上での警告・注意事項を、電源工事、一般、使用環境、設置、電源・アース、点検、清掃の順で以下、説明します。
- ◆製品各部の名称については、6ページをご覧ください。

 <b>警 告</b>	
	<p>●AC100Vの漏電遮断器のついた電源を利用する</p> <p>この工事をしないと、配線部が異常発熱する恐れがあり、感電や火災の原因となります。 ◇タコ足配線や定格に満たない延長ケーブル使用は厳禁です。</p>
	<p>●電気配線工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規則等に従って、必ず「法的有資格者」が行う</p> <p>施工不備があると、感電や火災などの原因となります。</p>
 アース線接続	<p>●アース工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規則等に従って、必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う</p> <p>漏電すると、感電の恐れがあります。</p>
	電 源 工 事

## ⚠ 警 告

	<p>●分解したり、修理・改造は行わないでください。            発火や感電、異常動作によるけがの原因となります。            ◇修理については販売店にご相談ください。</p>	一 般
	<p>●本体にぶらさがったり、カバーの上に乗ったり、グレーチングに全体重をかけたり、無理な力を掛けないでください。            けがや機器故障の原因となります。</p>	
	<p>●取り扱いに不慣れな方の使用に際しては、適切な指示を行ってください。            けがや機器故障の原因となります。</p>	
	<p>●運転中に発煙や異臭（こげ臭）・異音などの異常があった場合は、ただちに運転を停止し、電源プラグを抜いてください。            そのまま運転を続けると、火災・故障・けがのおそれがあります。            ◇再度の電源投入はせず、販売店にご相談ください。</p>	
	<p>●長靴洗浄以外の目的で使用しないでください。            けが、感電の原因になります。</p>	
	<p>●運転中に洗浄部、グレーチングの中に手を入れないでください。又、カバーを外した状態で使用しないでください。            けがや機器故障の原因となります。</p>	
	<p>●排水口をふさがらないでください。            故障の原因になります。</p>	
	<p>●火気の近くや水がかかる場所、本体が水につかる場所や塵埃の多い場所には設置しないでください。            けが、火災、感電、故障の原因になります。            ◇この製品の使用温度範囲は5℃～35℃です。            （ただし結露、氷結なきこと）</p>	使 用 環 境 ・ 設 置
	<p>●本機の搬送は必ず筐体を持ち、必ず2人以上で行ってください。            けが・故障の原因になります。</p>	
	<p>●小さな子供が出入りする場所に設置しないでください。            けがの原因になります。</p>	
	<p>●直射日光の当たる場所に設置しないでください。            けが・劣化・故障の原因となります            ◇製品本体が高温になります</p>	

# ⚠ 警 告

	<p>●<b>床上の固い水平面に設置してください。</b></p> <p>軟弱な床面や台の上、傾斜や段差のある場所に設置しますと、使用者及び本機の転倒によるけがや事故、水漏れによる感電・故障のおそれがあります。</p>	使用環境 設置
	<p>●<b>電源は交流100V（AC100V）を使用してください。</b></p> <p>機器が破損して、火災の原因となります。</p>	電源・アース
	<p>●<b>定格周波数（50/60Hz）で使用してください。</b></p> <p>装置誤動作の原因となります。</p>	
	<p>●<b>必ず接地してください。</b></p> <p>接地しないと感電・火災・故障する恐れがあります。</p>	
	<p>●<b>電源コード・電源プラグ破損の原因となるようなことは行わないでください。</b></p> <p>通路に置いたり、重いものをのせたり、無理に曲げたりしないでください。また電源プラグを抜くときは先端のプラグ部を持って抜いてください。 断線による感電、ショート、火災の原因になります。</p> <p>◇コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。</p>	
	<p>●<b>電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。</b></p> <p>差し込みが不完全のとき、感電や発熱による火災の原因になります。</p>	
	<p>●<b>ぬれた手で、電源プラグの抜き差しは行わないでください。</b></p> <p>感電の原因になります。</p>	
	<p>●<b>清掃・点検の際は、運転を停止し、電源プラグを抜いてください。</b></p> <p>けが、感電、故障のおそれがあります。</p>	点検・清掃
	<p>●<b>電源プラグのほこり等は定期的に取り除いてください。</b></p> <p>プラグにほこり等がたまると、湿気により絶縁不良となり、火災の原因になります。プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。</p>	
	<p>●<b>水をかけて清掃しないでください。（洗浄部を除く）</b></p> <p>感電、火災、故障の原因となります。 ◇洗浄部以外はかたく絞った布で拭いてください。</p>	

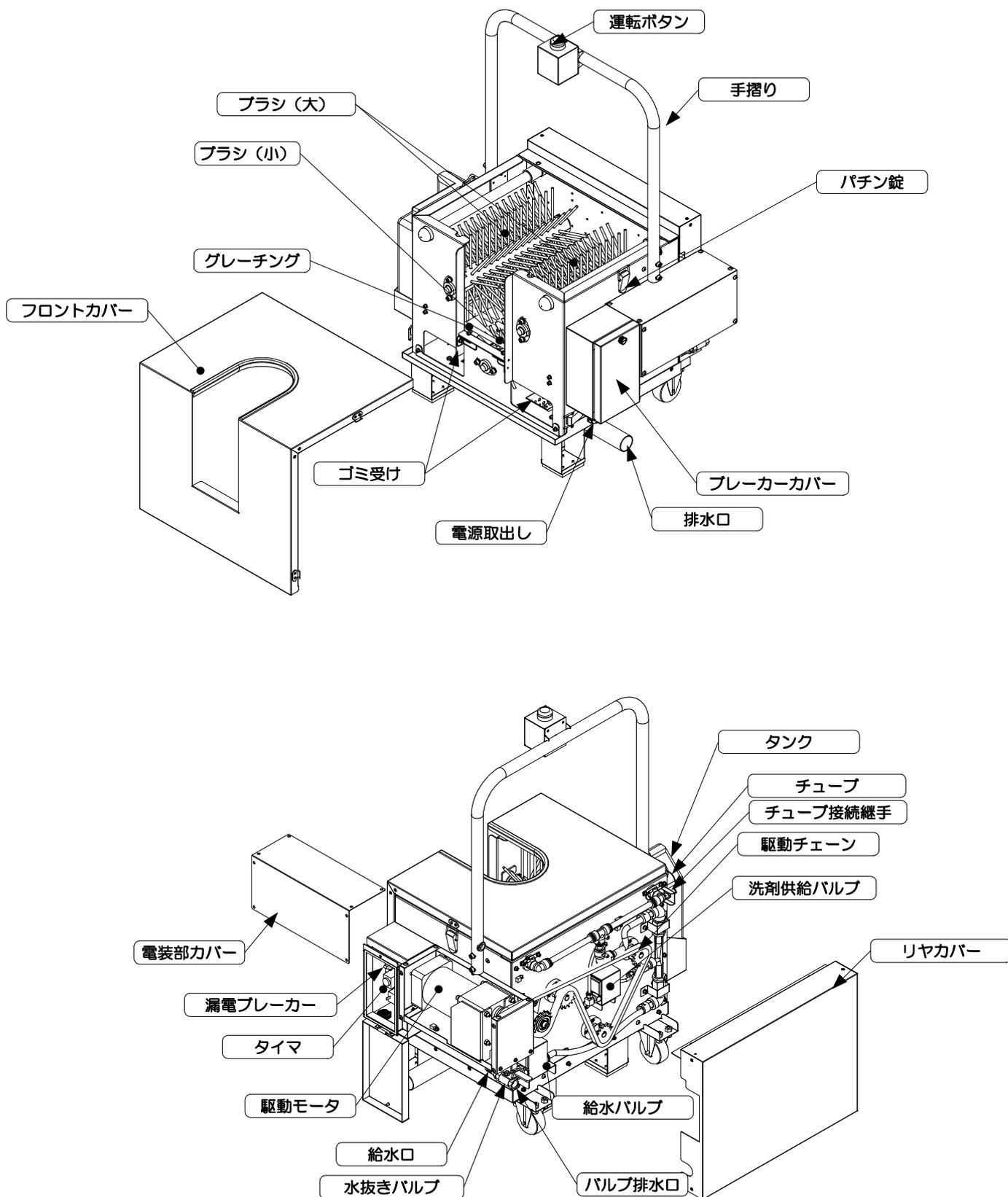
 <b>注 意</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●可燃性ガスが漏れるおそれのある場所や、引火物（シンナー・ガソリン等）が近くにある場所では運転しないでください。 火災の原因となります</li> </ul>	— 般
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●装置の運転中に強制的に停止させる場合は、非常時を除いては「運転ボタン」から手を離して停止してください。 運転中に漏電ブレーカーを切ったり、電源プラグを抜いたりすると、故障の原因となる場合があります。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●使用・保管温度は5～30℃です。 寒冷地でのご使用の場合は、水の凍結に注意してください。 凍結防止の為、ご使用后必ず水抜きを行ってください。 故障の原因になります。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水不足の状態／水が無い状態で使用しないでください。 ブラシの消耗・洗浄力の低下・故障の原因になります。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●泥等が溜まった状態で運転しないでください。 故障の原因になります。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●液体の合成洗剤（中性・アルカリ性）を使用してください。 固体の合成洗剤（粉末合成洗剤など）や、石けん系の洗剤を使用すると詰まり・故障の原因になります。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グレーチングを強く踏んだり、長靴を擦りつけたりしないでください。 ブラシが引っ張られ、毛抜けの原因になります。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●長期間使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。 絶縁劣化またはその他による感電・漏電火災の原因になります。</li> </ul>	点 検 ・ 清 掃
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグを抜くときは、必ず先端の電源プラグを持って抜いてください。 断線やショートによる発火や、感電のおそれがあります。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●清掃を行なう際に、クレンザーなどの研磨剤や、金属たわしなどは用いないでください。 キズの原因となります</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●長期間使用しない場合は装置内部の洗剤をすすいでください。 故障のおそれがあります。</li> </ul>	

本品は、長靴の靴底、側面を洗浄する事を目的とした装置です。  
他の用途での使用は絶対に行わないでください。

## 2 概要

KLS-J02B洗剤投入式長靴洗浄装置（以下洗浄装置）は、水またはお湯（60℃まで）と洗剤の混合液と洗浄ブラシを利用した長靴専用の洗浄装置です。今まで手で洗浄していた長靴を自動で洗浄します。

## 3 各部名称



## 4 設置・移動に際してのお願い

 <b>警 告</b>	
	<p>● AC100Vの漏電遮断器のついた電源を利用する</p> <p>この工事をしないと、配線部が異常発熱する恐れがあり、感電や火災の原因となります。</p> <p>◇タコ足配線や定格に満たない延長ケーブル使用は厳禁です。</p>
	<p>● 電気配線工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規則等に従って、必ず「法的有資格者」が行う</p> <p>施工不備があると、感電や火災などの原因となります。</p>
 アース線接続	<p>● アース工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規則等に従って、必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う</p> <p>漏電すると、感電の恐れがあります。</p>

- 開封時、搬送中に破損した所が無いか使用前にご確認ください。
- 本機を移動する際は、手摺りにて前面を浮かせて移動してください。  
また段差のあるところは本機を持ち上げて移動してください。  
◇車輪が破損する恐れがあります。
- この製品は屋内使用限定です。直射日光の当たる場所、大量の水がかかる場所に設置しないでください。  
また、本体が水につかる場所や塵埃の多い場所に設置しないでください。  
◇使用温度・保管温度範囲は5～35℃です。（結露、氷結なきこと）  
◇装置が高温になり、火傷、故障の恐れがあります。  
◇火災、漏電および感電の恐れがあります。
- 床上の固い水平面に設置してください。  
◇軟弱な床面や台の上、傾斜や段差のある場所には設置しないでください。
- 電源コードを通路に置いたり、重いものをのせたりしないでください。  
又、コンセントには水がかからない様にしてください。  
◇コードが断線すると、感電・ショート・火災の原因となります。
- チューブは急激に曲げたり、傷が付かない様に注意してください。  
◇本来の性能が出ない恐れがあります。
- ご使用にならない時は、直射日光、雨水に当たらない場所で保管してください。  
◇故障の原因となります。

## 設置から使用開始までの順序

- 1) 水抜きバルブのレバーを操作し、バルブを閉じて下さい。

バルブの開閉は図1を参考して下さい。  
図1左図の状態にして下さい。

- 2) 給水、排水ホースを取り付けてください。

給水、排水ホースをそれぞれ給水口、排水口に接続してください。  
各ホースはホースバンドにてしっかりと固定してください。

- ◇ 給水ホース（推奨）：内径φ15  
排水ホース（推奨）：内径φ38  
※ホースバンドは使用ホースにあったものを使用してください。

『△注意』：排水管のホースは排水口よりも下でお使いください。  
上げて配管しますと水漏れ・故障の恐れがあります。

- ◆ ホース及びホースバンドは付属していません。  
お客様にてご用意願います。

『△注意』：給水は水道水を必ず使用してください。  
※井戸水、溜め水、海水などは故障の原因となります。  
：ホースバンドの締付が不十分ですと感電・故障の恐れがあります。

- 3) 給水量は、使用に応じて給水元にて調整してください。

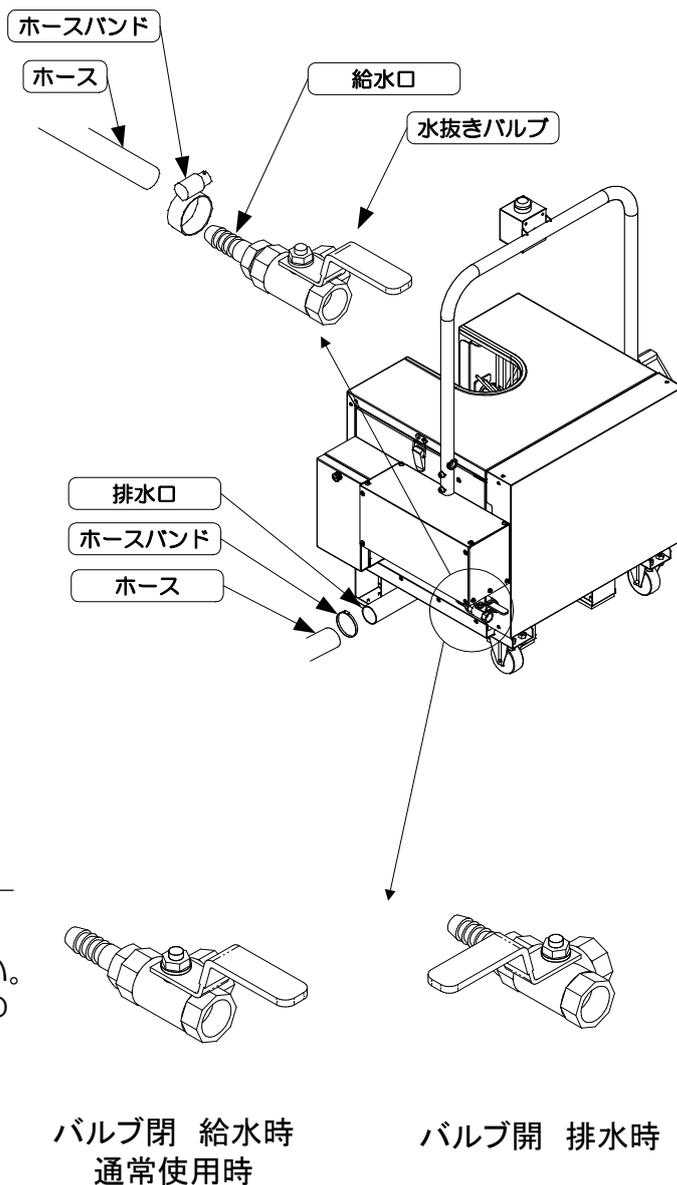


図1 バルブ開閉

4) 付属のチューブを継手に固定し、洗剤吸引口を洗剤容器に差し込んでください。

◆ 製品に付属するタンクを使用する場合はチューブの長手側を440mmに切断してください。

『△注意』:チューブは垂直に切ってください。

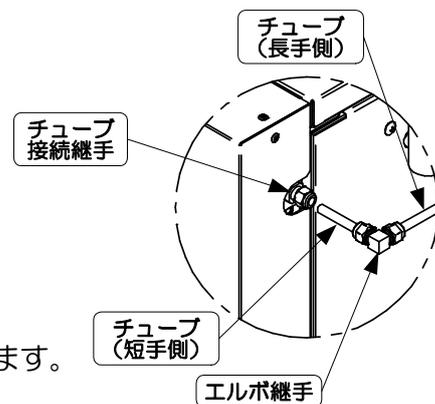
◆ 洗剤は付属していません。お客様にてご用意願います。

※使用洗剤：液体合成洗剤（中性～アルカリ性）

『△注意』:指定された洗剤以外を使用しますと故障の原因となります。

：付属のチューブを必ず使用してください。

：付属のチューブを下記の手順に従い接続してください。



チューブの短手側に袋ナットを通し、継手内部に当たるまで差し込んでください。

チューブは継手本体の先端より約10mm入ります。

手で軽く締め付けて、急に固くなったところから、約1回転と1/4締め付けてください。

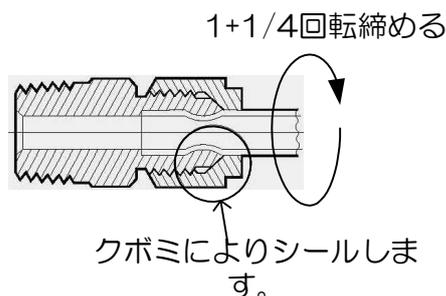
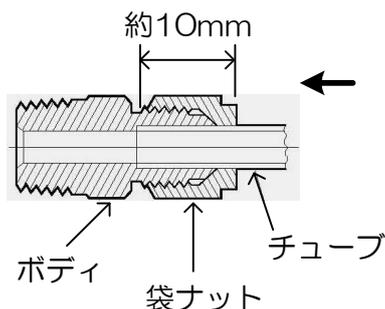
(※上記回転数で締め付けると継手ボディの先端が袋ナット端面までみ出てきます。)

(※必要以上に締め付けると、再度継手が使用できなくなります。ご注意ください。)

締め付けた後、チューブを軽く引っ張り、緩みなくしっかり固定されているか確認してください。

『△注意』:チューブは急激に曲げないように充分余裕を持たせてください。

#### 取付時



#### 取外時

袋ナットを緩めてチューブを抜いてください。

一度使用したチューブは、締め付けのクボミができています。

再度利用する時は、クボミを切断して使用してください。

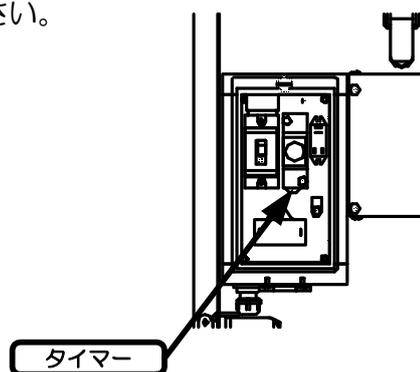
『△注意』:チューブは垂直に切ってください。

5) タイマーを操作し、洗剤の投入時間を設定してください。

運転ボタンを押して最初の数秒洗剤が流れ、その後洗剤が止まり、すすぎ運転となります。

タイマーのつまみを変更することで洗剤が流れる時間を設定することができます。

(出荷時：設定3秒)



## 5 ご使用方法

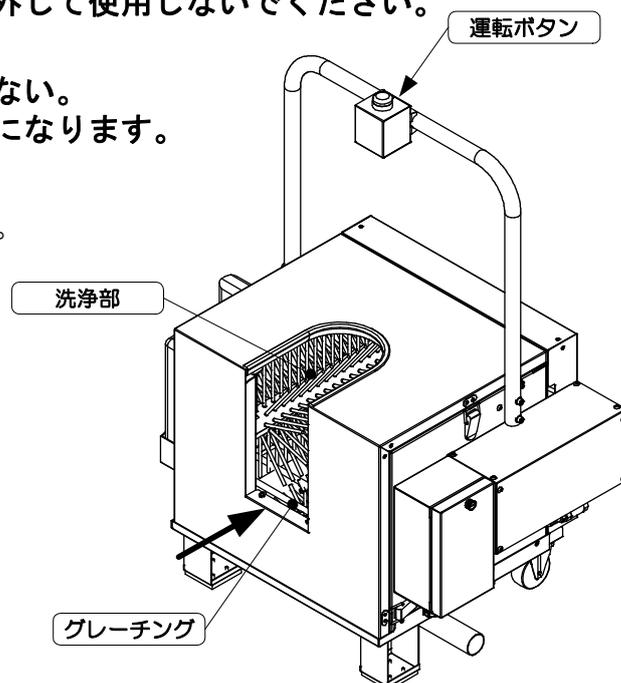
- 各部の名称については6ページをご覧ください。
- 動作がおかしいと感じたときは、販売店に連絡する前に、16ページの「故障かな!？」をご覧ください。

 警 告	
	● 保守・点検以外には各種カバーを開放しない 又、各種カバーの上に乗らない けがや故障の原因となります。
	● 運転中にグレーチングの中に手を入れない けがや故障の原因となります。
	● 長靴以外で使用しない けがや故障の原因となります。
	● 指定された洗剤以外を使用しない 故障の原因となります。

 注 意	
	● グレーチングを強く踏んだり、長靴を擦りつけたりしない ブラシが引っ張られ、毛抜けの原因になります。

- 長靴は、足に履きながら洗浄してください。  
◇けが・故障の恐れがあります。
- グレーチング（洗浄時の足置き場）を外して使用しないでください。  
◇けが・故障の恐れがあります。
- 水不足の状態／水が無い状態で使用しない。  
◇ブラシの消耗・洗浄力の低下の原因になります。

- 1) 電源プラグが差し込まれている事を確認します。
- 2) 片足（長靴）を洗浄部にセットします。
- 3) 「運転ボタン」を押すと長靴を洗浄します。
- 4) 「運転ボタン」を放すと洗浄が止まります。
- 5) 使用後は給水の元栓を締め、水抜きバルブを閉じ、水が出ない状態で空運転し機器内の水圧を抜いてください。



## 寒冷地でご使用の場合

### 注意



●寒冷地でのご使用の場合は、運転開始時に水の凍結に注意してください。凍結防止の為、ご使用后必ず水抜きを行ってください。

故障の原因になります。

● ご使用后及び保管時は下記の手順で機器内の水を抜いてください。

1) タンクからチューブを抜き、給水した状態で運転をして洗剤供給用チューブ内の洗剤を抜いてください。

2) 給水の元栓を締めて下さい。

3) 水抜きバルブを閉じ、水が出ない状態で空運転し機器内の水圧を抜いてください。  
図1左図

『△注意』：本体を前に傾けて確実に配管内の水を抜いてください。  
その際に本体を倒さない様に注意してください。

4) 水抜きバルブを操作し、バルブを開けてください。図1右図

『△注意』：操作の際に水が勢い良く飛び出す時がありますので注意してください。

5) 使用再開時には給水側の水の凍結にご注意ください。

『△注意』：故障及びブラシの消耗・洗浄力の低下の原因になります。

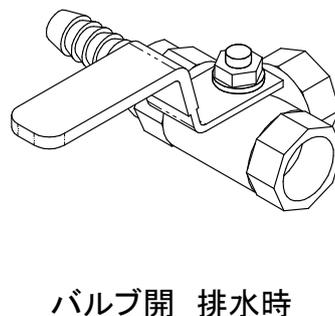
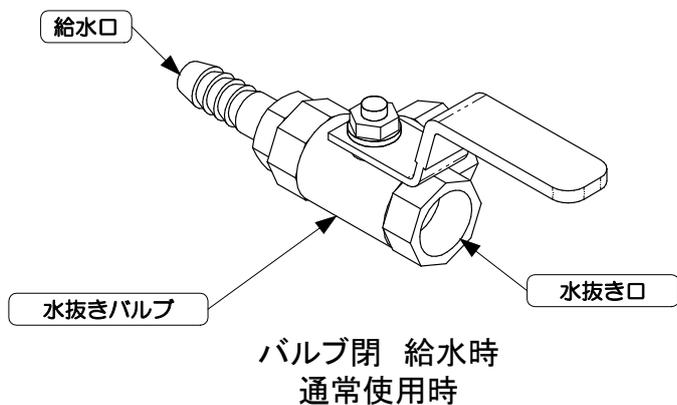
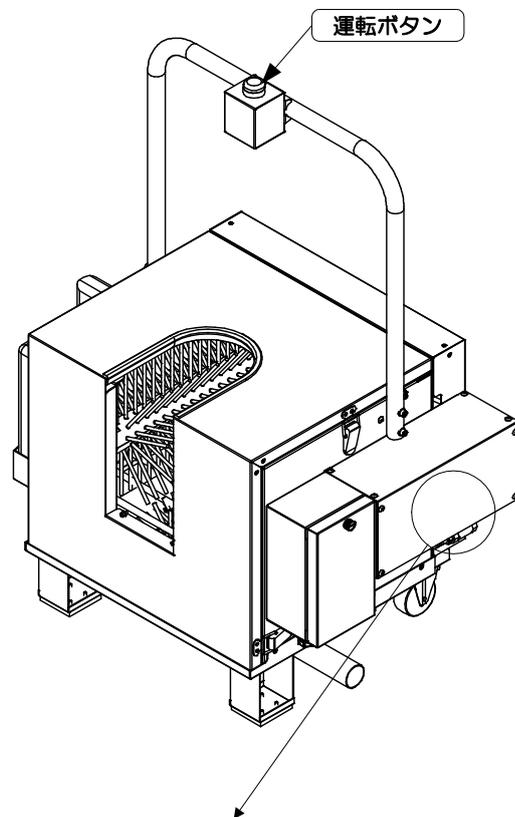


図1 バルブ開閉

## 6 お手入れの仕方



### 警告



- 清掃・点検の際は、運転を停止し電源プラグを抜いてください。  
感電のおそれがあります。



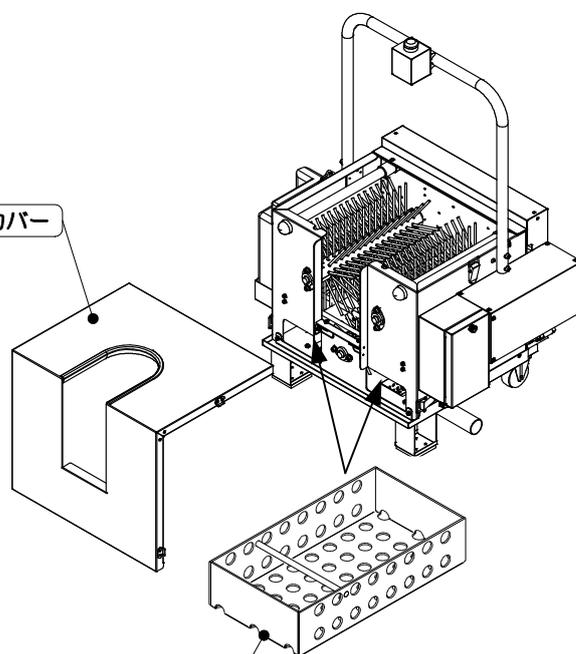
- カバー等を外しての清掃後は、必ず取り付けてください。  
運転時にけが・感電・故障の原因となります。

- 清掃をする際、本体側面の電装部カバー、リヤカバーは外さないでください。  
また、カバー内部に水が入らないよう注意して清掃してください。  
◇感電・故障の原因となります。  
◇クレンザーなどの研磨剤や、金属たわしなどは使用しないでください。
- 電源プラグのほこり等は定期的に取り除いてください。
- 長期間使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 作業時、手の挟み込みや部品落下によるけがに気を付けて作業を行ってください。

### ■ゴミ受けの清掃

- 1) 作業開始前に漏電ブレーカーをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
- 2) フロントカバーを外してください。  
◇：パチン錠を取り外します。（4ヶ所）
- 3) ゴミ受けを取出し、ゴミを破棄してください。
- 4) 清掃後は、取り外したものを元の位置へ取り付けてください。

フロントカバー



ゴミ受け

『△注意』：ゴミ受けは定期的に清掃してください。  
詰まったまま使用しますと、水漏れの原因となります。

## ■内部の清掃

1) 作業開始前に漏電ブレーカーをOFFにし、電源プラグを抜いてください。

2) フロントカバーを外してください。

◇：パチン錠を取り外します。（4ヶ所）

◇：必要に応じてブラシ、グレーチングを外してください。

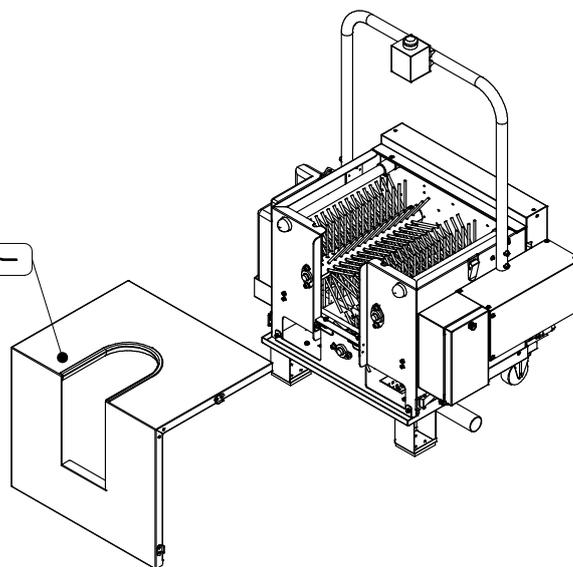
※ブラシの外し方は、P 14 参照  
※ブラシ（大）を外してからグレーチングの蝶ボルト2本を取り外してください。

3) 内部を清掃します。

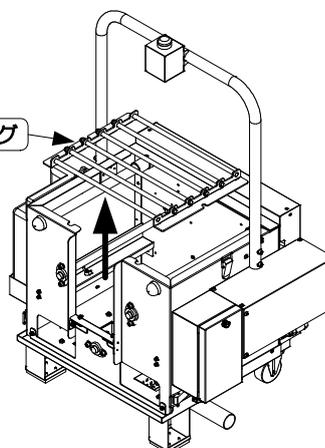
4) 清掃後は、取り外したものを元の位置へ取り付けてください。

『△注意』：取り付けネジは、確実に固定してください。

フロントカバー



グレーチング



## ■外部の清掃

1) 作業開始前に漏電ブレーカーをOFFにし、電源プラグを抜いてください。

2) 外部を清掃します

◇：フロントカバーを装置から外すことで、フロントカバーは水洗いが可能です。

◇：フロントカバー以外の水洗いは禁止です。ふき取りにて清掃してください。

# ⚠ 注 意



● 長期間使用しない場合は装置内部の洗剤をすすいでください。  
故障のおそれがあります。

- 装置内部の洗剤をすすぐ場合は洗剤吸引口より水道水を吸引させてください。  
◇ 長期間使用しない場合、装置内部の洗剤が硬化するおそれがあります。

## ■ 消耗品の交換

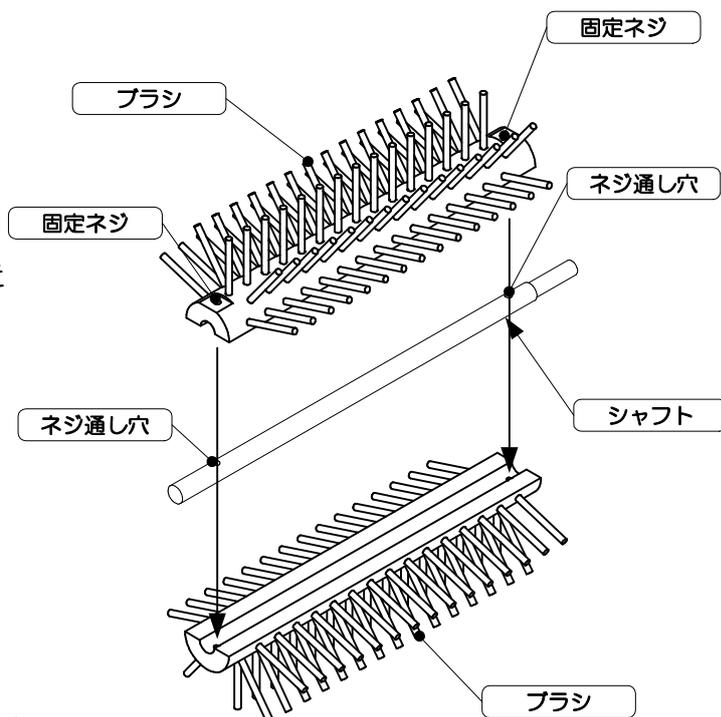
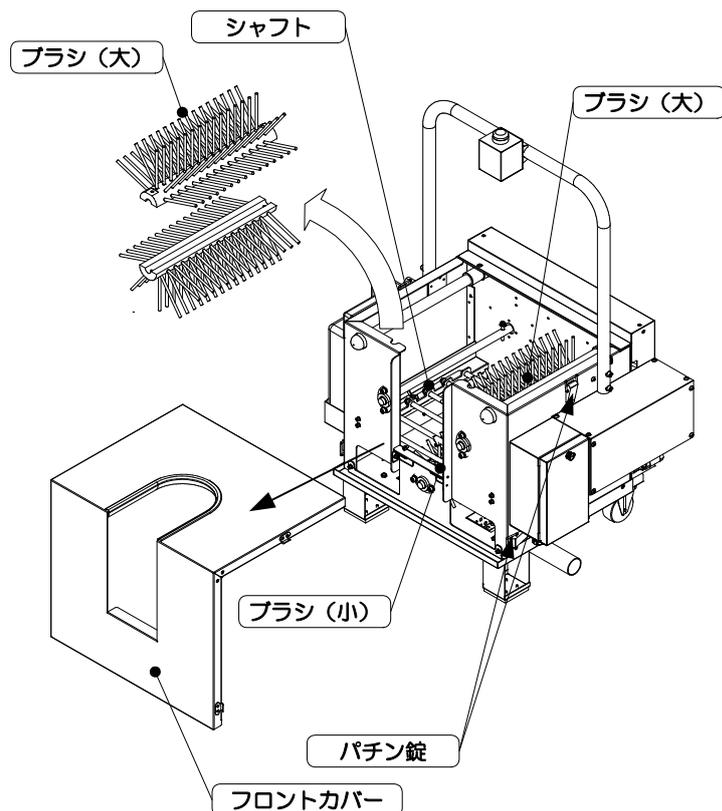
※ ブラシ（大）（小）の交換

作業には、+ドライバーを使用します。

- 1) 作業開始前に漏電ブレーカーをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
- 2) フロントカバーを取り外してください。  
◇：パチン錠を取り外します。（4ヶ所）
- 3) ブラシ（大）の両端にあるネジを取り外します。  
◇：+ドライバーを使用します。（2ヶ所）
- 4) シャフトよりブラシ（大）を取り外します。
- 5) 交換用ブラシをシャフトに取り付けます。
- 6) ブラシ両端の穴とシャフトにある穴を合わせてネジを締め込みます。
- 7) 他のブラシも同様に交換します。

注) ブラシ（小）の交換時はブラシ（大）、グレーチングを外しますと作業が行いやすくなります。

『⚠ 注意』：取り付けネジは元に取り付いていたもの以外は使用しないでください。  
：取り付けネジは、取り外したあと再び取り付ける際は、確実に固定してください。  
：作業時は端面やネジに注意してください。怪我の恐れがあります。



※給水フィルターの清掃・交換

作業には、スパナ、シールテープを使用します。

- 1) P.11の手順に従って水抜きを行い、給水口のホースを外してください。
- 2) 漏電ブレーカーをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
- 3) 水抜きバルブの⑧部をスパナで押さえながら、給水フィルターの⑨部をスパナで回して給水フィルターを外してください。

◇：スパナを使用します。（2ヶ所）

<清掃の場合>

- 4) 給水フィルターを水洗いして異物を取り除いてください。
- 5) 給水フィルターに巻かれていた古いシールテープを完全に取り除いてください。
- 6) 給水フィルターのおねじ部に、シールテープを図の向きにたるまないよう2～3重に巻き、給水フィルターを水抜きバルブにねじ込んでください。（おねじの先端から1山はシールテープを巻かないでください）

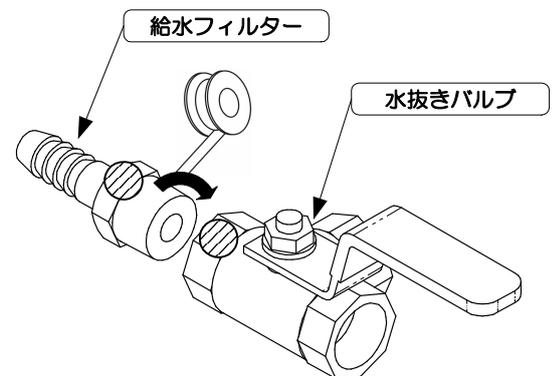
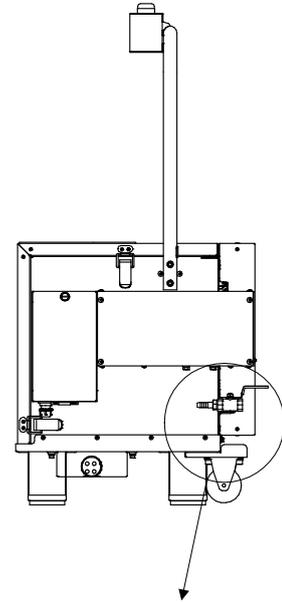
◆ シールテープは付属していません。  
お客様にてご用意願います。

<交換の場合>

- 4) 新しい給水フィルターのおねじ部に、シールテープを図の向きにたるまないよう2～3重に巻き、給水口を給水フィルターに、給水フィルターを水抜きバルブに、順番にねじ込んでください。（おねじの先端から1山はシールテープを巻かないでください）

◆ シールテープは付属していません。  
お客様にてご用意願います。

『△注意』：給水フィルターの推奨締付けトルクは20～24N・mです。  
締付けが浅かったり、締付け過ぎると、水漏れ・ネジ部破損の原因となります。  
：給水フィルターを水抜きバルブにねじ込む際は、必ず水抜きバルブをスパナで固定しながらねじ込んでください。固定しないと、装置内部の給水バルブが破損し、水漏れ・故障の原因となります。



## 7 故障かな！？

- 動作がおかしいと感じたときは、販売店に連絡する前に、まず次のこと  
をお調べください。

◇：何らかのトラブルで点検をする際には必ず漏電ブレーカーをOFFにし、電源プラグを抜いて下さい。  
けがや感電・故障の恐れがあります。

症 状	調 べ 方
運転ボタンを押しても 動かない	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎電源プラグが抜けていないか確認してください。</li> <li>◎元電源の漏電遮断器を確認してください。 たこ足配線を行っている場合はお止めください。</li> </ul>
運転ボタンを押しても ブラシがまわらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ブラシがしっかりとシャフトに固定されているか確認してください。</li> <li>◎駆動用のチェーンを確認してください。 →リヤカバーを外して確認してください。 →チェーンの破損等ある場合は、販売店にご連絡ください。 「注意」リヤカバーを外す際は、必ず漏電ブレーカーをOFFにして 電源プラグを外して行ってください。けが・感電の恐れがあります。</li> </ul>
運転ボタンを押しても 水が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎給水元を確認してください。</li> <li>◎装置背面(リヤカバー側)・電装部にて水漏れがないか確認してください。 →水漏れが発生した場合は、販売店にご連絡ください。</li> <li>◎給水バルブを確認してください。 →リヤカバーを外して確認してください。 →給水バルブの破損等ある場合は、販売店にご連絡ください。 「注意」リヤカバーを外す際は、必ず漏電ブレーカーをOFFにして電源 プラグを外して行ってください。けが・感電の恐れがあります。</li> </ul>
運転ボタンを押しても 水・洗剤の出が悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎P.15の手順に従って給水フィルターが詰まっていないか確認してください。 →異物が詰まっている場合は、洗浄して取り除いて下さい。</li> <li>→カルキなどが固着して取れない場合はフィルターを交換して下さい。 消耗品として交換用を用意してあります。お買い上げの販売店に ご連絡ください。</li> </ul>
運転ボタンを押しても 洗剤が供給されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎洗剤吸引元を確認してください。</li> <li>◎装置背面(リヤカバー側)・電装部にて水漏れがないか確認してください。 →水漏れが発生した場合は、販売店にご連絡ください。</li> <li>◎洗剤供給バルブを確認してください。 →リヤカバーを外して確認してください。 →洗剤供給バルブの破損等ある場合は、販売店にご連絡ください。 「注意」リヤカバーを外す際は、必ず漏電ブレーカーを OFFにして電源プラグを外して行ってください。 けが・感電の恐れがあります。</li> <li>◎タイマを確認してください。 →電装部カバーを外して確認してください。 「注意」電装部カバーを外す際は、必ず漏電ブレーカーをOFFにして 電源プラグを外して行ってください。けが・感電の恐れがあります。</li> </ul>
ブラシが摩耗してきた	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎洗浄を繰り返す事により、ブラシが摩耗します。 →消耗品として交換用を用意してあります。 お買い上げの販売店にご連絡ください。</li> </ul>

- それでも直らない場合、または上記以外の異常が生じた場合は、電源プラグ  
を抜き、販売店にご連絡ください。

## 8 保証とアフターサービス

- (1)修理・お取り扱いなどのご相談は、まず販売店にお申し付けください。  
(2)保証書（別添付）は必ず、ご購入日・取扱店名などの記入をお確かめいただき、大切に保管してください。  
※保証書は日本国内においてのみ有効です。

対象部分	製品本体	消耗品の交換は保証期間内でも「有料」とさせていただきます。 ※消耗品・・・各種フィルタ
保証期間	ご購入時から1年間	

### (3)アフターサービス

#### ●修理を依頼される時は・・・

16ページの「故障かな!？」にしたがってご確認いただいた後、状況が改善されない場合は、電源プラグを抜き、製品の使用を中止して、販売店にご連絡ください。

#### ◇保証期間中は・・・

保証書の規定にしたがって修理させていただきます。  
故障内容と製造番号を販売店までご連絡ください。

#### ◇保証期間を過ぎている場合は・・・

故障内容と製造番号を販売店までご連絡ください。  
修理可能な内容については、ご希望により有料で修理させていただきます。

#### ◇修理対応

修理対応は保証期間中であっても、センドバック修理サービスとさせていただきます。  
故障機を弊社工場（長野県東御市）に送付していただき、修理して返却いたします。

#### ◇修理料金のしくみ

修理料金は、技術費・部品費・運送費などで構成されています。

#### ◇製品耐用年数について

耐用年数は7年です。  
耐用年数を経過しましたら、修理対応ができませんのでご了承ください。

**技術費** 診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検にかかる費用です。

**部品費** 修理に使用した部品および補助材料費です。

**運送費** は、往復運賃と梱包費用です。

# 9 仕様

形式	KLS-J02B
外形寸法	W693×D442.5×H932.8(mm) ※突起部除く
質量	約40kg (乾燥時)
電源	AC100V(50Hz/60Hz)
消費電力	110W(洗浄時)
使用環境温度	5°C~35°C
使用環境湿度	20%~85%RH(結露・氷結なきこと)
供給水	水道水(1°C~60°C)
水圧	0.1~0.5MPa
耐圧	1MPa
タイマ	0秒~30秒:可変 ※出荷時は3秒設定
使用洗剤	液体合成洗剤(中性~アルカリ性)
給水口径	φ16ホースニップル
排水口径	30A(呼びφ38用)
材質	・本体:ステンレス材
洗剤チューブ	Φ6フッ素樹脂チューブ
電源コード	約2.5m付(3極プラグ(アースピン付き))
耐荷重	60kgf
設置場所	直射日光の当たらない場所、水がかからない場所
保管場所	直射日光、雨水の当たらない場所
安全装置	・漏電ブレーカー(15A) ・モーター内蔵サーマルプロテクター(120°C±5°C)

## □付属品

- チューブ(1m:エルボ継手付)  
使用前に本体にセットしてください。

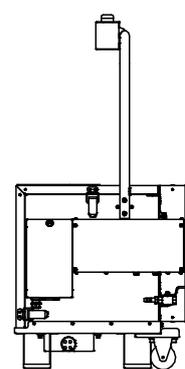
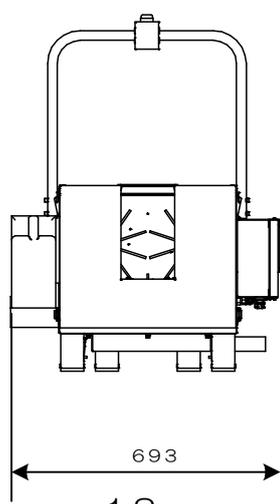
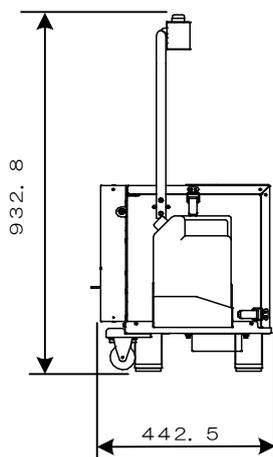
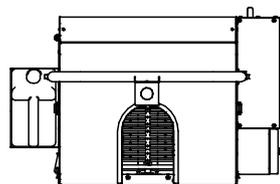
## □消耗品

- ブラシ(大):品番 KLS-BR02-ケ
- ブラシ(小):品番 KLS-BR04-ケ
- 給水フィルター:品番 KLS-WF02

◇購入・交換作業は販売店にお問合せ下さい。

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。

## □外形図



# 保証書

お客様名		様
ご住所		
お電話	FAX	
品名	型式	
	シリアルNo.	
保証期間	1年間（お買い上げ日から）	対象部品：本体
お買い上げ日	年	月 日

※お手数ではございますが、空欄のご記入をお願いいたします。

## 無料修理規定

- 保証期間内に、取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意事項に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき、無料修理致します。
- 保証期間内であっても次の場合には有料修理となります。
  - この保証書の提示がない場合。
  - 保証書に、シリアルNo.、お買い上げ日、お客様名、お取扱店名の記載がない場合。  
保証書の字句を書き換えられた場合。
  - 改造又は、不当な修理による故障並びに損傷。
  - ご購入後の移動、輸送、落下及び転倒等による故障並びに損傷。
  - 火災、地震、落雷、その他天変地異などによる故障並びに損傷。
  - 消耗品の交換。  
※有料修理時の運賃、諸掛かり費用については、お客様にてご負担願います。
- この保証書は、日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期限経過後の修理などについてご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店にお問合せ下さい。

■販売店	■製造 ISO9001、ISO14001 認証取得  <b>コトヒラ工業株式会社</b> 本社／〒389-0512 長野県東御市滋野乙1320 TEL：0268-63-0120（ダイヤルイン） TEL：0268-63-0001（代） FAX：0268-63-0009 URL：http://www.kotohira.biz/
------	--